

平成29年度当初予算 事業見直しチェックリスト

【報4-2】

担当所属		担当者	
細事業名 (または見直し項目(事業)名)			

・以下の視点に基づき、社会情勢や市民ニーズの変化、対象者数の増減、国県の動向等も踏まえながら事業の点検を行ってください。

◆ 必要性

- ① 法令等（市の条例・規則等は除く）で市が実施することになっている事業である
- ② 社会的ニーズがあり、市が実施すべき事業である
- ③ 市域において、国、県、民間で同様の事業を実施していない

◆ 実施手法の最適化

- ④ 市が直接実施すべき事業である、またはすでに外部委託等しており最適化の余地はない
 - ・アウトソーシング（外部委託）等ができないか
 - ・他に目的が重複している事業はないか、他の事業と集約できないか
- ⑤ 協働による実施の可能性はない、またはすでに協働で実施しており余地はない
 - ・市民、地域、市民団体等と協働で事業を実施することができないか
 - ・ " " に担ってもらうべき部分はないか

◆ 効率性

- ⑥ 事業の対象者の見直しや事業内容の改善、経費削減の余地はない
- ⑦ 事業のサービス水準、経費などは妥当である（近隣市等との比較）
- ⑧ 費用対効果の検証を行っている
- ⑨ 事業実施のプロセス（やり方、手順、使用している様式等）は適切であり、効率化の余地はない
- ⑩ 受益者負担は適正である、または、受益者負担を求める事業ではない

◆ 有効性

- ⑪ 事業の目的達成の手段として最適である
- ⑫ 終期の設定ができない事業である、または終期設定がされている
- ⑬ 事業効果を測る指標があり、効果測定を行っている

・上記①～⑬の項目で、チェックがつかない項目があった場合、下記に今後の見直しの方向性（見直しを行わない場合はその考え方を記入してください）。

見直し事項	例) ○○補助金の対象者および算定方法の見直し、○○業務の外部委託化 等
見直し内容	

- (注) 1. 当様式（チェックリスト）は、当初予算要求にあたっての事務事業見直しのための自己点検に使用すること。
2. 当様式（チェックリスト）に基づき点検を行った結果、次年度から見直しを行うものについては、様式4（既定経費見直し）を提出すること。
3. 様式4（既定経費見直し）を提出する際は、経営改革室に当様式（チェックリスト）を見直し事業ごとに提出すること。（財政課添付不要）
4. 次年度からの見直しを行わない場合、提出は不要だが、点検結果を次年度以降に活用するため、電子データで保管すること。